



すずらん

たのもしく ただしく たくましく

天理市立福住小学校

令和元年7月19日

第4号 文責 神元 聡

脚下照顧 ～場を清める～



「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」は、お寺に行くと玄関やトイレなどでよく見かける言葉です。「脚下」は、足元の意。「照顧」は反省してよくよく考えることです。簡単に言うと、「靴やスリッパを履き替える時に、今一度足元を見つめましょう。」という意味です。「靴が乱れている人は、もしかすると心も乱れているかもしれませんよ。」という戒めの言葉ではないでしょうか。

先日の全校集会で「場を清める」という話をしました。「清める」というのは誤解されがちなので、「清々（すがすが）しい」という語に置き換えて話を進めました。私は、学校は、「清々しいところ」だと思っています。そのためには、掃除をして整理整頓を心がける必要があります。掃除の効用を5Kで表されることがあります。「①気づく人になれる ②心が磨かれる ③謙虚になれる ④感動の心がはぐくまれる ⑤感謝の心がめばえる」の5つのKです。「毎日過ごす学校を、みんなで美しく清々しい場にしましょう！」と子どもたちに投げかけました。是非ご家庭でも、お子様の部屋の片付け・机上の整理・プリント類やランドセルの中の整頓などについて、話し合う機会を作っていただきたいと思います。ご理解とご協力よろしくをお願いします。



1学期が終了しました！



本日、通知表を子どもたちにお渡ししました。通知表は、子どもの学習や学校生活の様子を保護者にお知らせすることによって、子どもにやる気や意欲を持たせ、その子のよさをどのように伸ばしていけばよいかを家庭と共に考えるものです。担任は、子ども一人ひとりの学習や行動の様子をしっかりと見つめ、その子のよさや可能性をよりよく伸ばしたいと願い作成しています。通知表にこめられた担任の思いをしっかりと受けとめていただき、頑張ったところを、思う存分「褒めて」「認めて」あげてほしいと思います。それが、今後の学習や学校生活で頑張ろうという意欲につながります。よろしくお願いします。

明日から長い夏休みが始まります。夏休み中も「個人懇談」や「まなびタイム」などで学校に来ることもありますが、学校生活を離れ、家庭中心の生活となります。地域や家族での楽しい行事も多くなり、つつい気が緩み、思わぬ事故に巻き込まれることもあります。子どもたちが、夏休みを大いに楽しみ、地域社会の一員として活躍できますように、ご家庭での見守りをよろしく願いいたします。

大きく育ったよ 子どもたちが、毎日一生懸命、水やりをしていた学級園。こんなに立派に育ちました。



保護者の皆様ありがとうございました

「一人ひとりが元気でいきいきと輝く子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、信頼される学校を目指してまいりました。保護者の皆様や地域の皆様のご理解ご支援のお陰様をもちまして、本日1学期を終えることができました。本当にありがとうございました。

